



大切なプールに感謝をこめて



本年度、新型コロナウイルス感染症のリスクを避けるため、呉市立小学校においては、プールでの水泳指導が中止となりました。しかし、6月12日の午後、プール清掃は例年通り行いました。力を貸してくれたのは、6年生。密にならないように、5校時1組、6校時2組と分かれ、間隔をとりながらプールの床や壁をこすってきれいにしてくれました。

せっかくきれいになっても、今年度は、ここで泳ぐわけではないのですが、来年度から泳ぐ後輩のためにと、6年生は頑張ってくれました。お昼の放送では、全校に6年生の気持ちを伝え、下級生達は6年生への感謝の気持ちをもつことができました。

プールには水泳をする以外にも大切な役割があります。その大切な役割とは、「防火水槽」としての役割、非常時の「生活用水確保」といった役割です。



大プールの汚れを落とす6年生



小プールもすみずみまできれいに



きれいになったプール



豪雨災害時、ありがたかったプールの水

一昨年度の西日本豪雨災害の時には、断水が続き、本校にも自衛隊の給水車が来たりしましたが、このプールの水も活躍しました。たくさんの地域の方が、トイレや洗たく用にとプールの水を汲みに来られました。当時、本校卒業生を含む高校生が水汲みの手伝いに来てくれたことを今思い出しても嬉しくなります。そういった先輩達の地元愛を本校児童も受け継ぎこれまでの感謝の気持ちも込めて汗を流してくれた6年生です。ありがとう。

今年度、プールでの水泳指導はありませんが、水泳の心得については、指導していきます。水に慣れ親しんでほしいと願うと同時に、水の事故から自らの命、友達の命を守る態度を身に付けさせたいと思います。